

KPI(重要業績評価指標)

基本目標 1 若者や子育て世代に選ばれるまち

人口減少や少子高齢化が進む中、こどもを産み育てやすい環境づくりや女性が活躍できるまちづくりを進め、若者や子育て世代が住んでみたい・働いてみたいと選ばれるまちを目指します。

施策① 若者・子育て世帯に寄り添った結婚・出産・子育て支援の充実

- 施策方針1 ●若者の結婚、出産、子育てについて安心できるように若者や子育て世代に寄り添った支援を行います。
- 施策方針2 ●子育て世帯が安心して子育てと仕事の両立ができるよう、多様なニーズに対応した子育て支援策の充実を図ります。

No	重要業績評価指標（KPI）	所管課	単位	基準値 (計画策定時) 測定日・年度	実績値					判定	目標値 (R12)	指標の推移の状況・事業評価	今後の取組み
					(R7) 測定日・年度	(R8) 測定日・年度	(R9) 測定日・年度	(R10) 測定日・年度	(R11) 測定日・年度				
1	結婚新生活支援補助金申請数	経営戦略課	件／年	24	23					D	30	令和7年度の実績は基準値と同程度だった。申請者アンケートにおける「本事業をどのタイミングで知りましたか。」の設問に対して約半数が「結婚届出時以降」と回答していた。結婚へのきっかけとして本事業は効果的とはいえないと思われる。	同アンケートにおいて「経済的不安の軽減に役立ったと思いますか。」の設問に対して大半の方が「とても役立った」と回答していたことから一定の効果はみられたものの、選ばれるまちを目指すためには本補助金のあり方について抜本的な見直しをする必要がある。
				R6.4～R7.3	R7.4～R8.3	R8.4～R9.3	R9.4～R10.3	R10.4～R11.3	R11.4～R12.3		R12.4～R13.3		
2	放課後児童クラブ待機者数	子育て支援課	人	15	14	－	－	－	－	C	0	令和7年度の実績は基準値より減少した。富貴児童クラブが新設したことにより、富貴小学校区の待機児童は解消された。武豊小及び衣浦小学校地区については、施設規模に対して申込人数が多く、依然として待機が発生している。	令和8年7月に衣浦小学校区内に民間児童クラブが新規開所することを受け、衣浦小学校地区の待機児が解消する見込みである。武豊小学校区については、民間活用を視野に待機児童解消に向けた取り組みを検討する。
				R6.4.1時点	R7.4.1時点	R8.4.1時点	R9.4.1時点	R10.4.1時点	R11.4.1時点		R12.4.1時点		

施策② 豊かな心を育むためのこどもの応援

- 施策方針1 ●こどもが健やかに成長できるように、こどもが安心して遊べる環境づくり、多種多様な体験学習の機会づくり、地域ぐるみでこどもを見守る体制づくりなどを進めます。
- 施策方針2 ●虐待やいじめ、不登校、ヤングケアラーなどで悩んでいるこどもへの相談体制の拡充やこどもにとって心地の良い、居場所づくり、学びの環境づくりなどを進めます。
- 施策方針3 ●こどもたちが将来にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しめる環境づくりのため、地域クラブ活動事業を推進します。

No	重要業績評価指標（KPI）	所管課	単位	基準値 (計画策定時) 測定日・年度	実績値					判定	目標値 (R12)	指標の推移の状況・事業評価	今後の取組み
					(R7) 測定日・年度	(R8) 測定日・年度	(R9) 測定日・年度	(R10) 測定日・年度	(R11) 測定日・年度				
1	児童館年間個人来館者数	子育て支援課	人	33,399	37,696					B	48,000	令和7年度の実績は基準より約12.8%増加した。館ごとに差はあるものの、コロナ禍の影響は回復傾向にある。また、日本福祉大のゼミ協力によるプレーパークなど、新しいイベントを実施したことも来館者の増加につながったと考えられる。	公共交流拠点の交流施設に児童館機能を入れることを視野に、児童館の役割や中高生の居場所についてのニーズ検討を進める。時代のニーズに合わせた運営方法についても、日本福祉大学の学生と協働し検討していく。
				R6.4～R7.3	R7.4～R8.3	R8.4～R9.3	R9.4～R10.3	R10.4～R11.3	R11.4～R12.3		R12.4～R13.3		
2	幸せな気持ちになることが「よくある」と答えた人の割合 (全国学力・学習状況調査)	学校教育課	%	51.3 (小6)	53.3 (小6)	(小6)	(小6)	(小6)	(小6)	B	60.0 (小6)	令和7年度の実績は基準値より約2%を増加した。学校生活だけでなく、家庭環境や友達関係などにより、自己肯定感、安心感、達成感などが幸福感の向上につながったと考えられる。	児童生徒一人一人が安心して学校生活が送れるよう、個々の学習に応じた支援やICTを活用した学びの充実による達成感や自己肯定感の醸成に努めるほか、すべての小中学校にコミュニティスクールを導入することで学校・家庭・地域とのつながり強化に努めていく。
				40.5 (中3)	43.0 (中3)	(中3)	(中3)	(中3)	(中3)		55.0 (中3)		
3	町内小中学校の児童・生徒の武豊町地域クラブの所属人数	生涯学習スポーツ課	人	332	398					B	540	令和7年度の実績は、基準値より約19.8%増加した。地域クラブ登録団体の増加に加え、地域クラブ通信や地域クラブ紹介動画等を通じた周知の強化などにより、所属人数の増加につながったと考えられる。	引き続き地域クラブ通信等による周知を行うとともに、地域クラブ団体への補助金や困窮家庭への参加補助制度等の支援を行う。
				R7.8時点	R8.3時点	R9.時点	R10.3時点	R11.3時点	R12.3時点		R13.3時点		

施策③ 若者や子育て世代を意識したタウンプロモーション

- 施策方針1 ●若者や子育て世代に選ばれるまちになるよう、SNSや広報媒体を積極的に活用し、町内外へ向けてまちの魅力情報を発信し、武豊町の認知度向上を図ります。
- 施策方針2 ●若者に住みたい・住み続けたいと思ってもらえるように移住・定住支援策の充実や、まちの暮らしやすさのアピールなどを行います。

No	重要業績評価指標（KPI）	所管課	単位	基準値 (計画策定時) 測定日・年度	実績値					判定	目標値 (R12)	指標の推移の状況・事業評価	今後の取組み
					(R7)	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)				
					測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度				
1	町公式SNSの動画年間投稿数	DX推進課	件	120	107					D	160	令和7年度の実績は基準値から約10%減少した。定期的な情報発信は概ね維持できたものの、年度後半において配信ベースが鈍化したのは安定した配信を継続する体制が整備できていなかったことに起因すると思われる。	動画配信プロジェクトチームを中心に、ショート動画をはじめとした町政情報の発信やタウンプロモーション動画の配信を継続するとともに、各課で動画撮影・編集が可能な共有機材を導入し、全庁的に安定して投稿ができる体制を整備する。
				R6.4～R7.3	R7.4～R8.3	R8.4～R9.3	R9.4～R10.3	R10.4～R11.3	R11.4～R12.3		R12.4～R13.3		
2	LINE友達登録者数	DX推進課	人	9,823	10,845					B	13,000	令和7年度の実績は基準値から10.4%増加した。配信のルールやフローを定めたことにより、登録者数の維持・増加につながったと考えられる。	今後も広報委員会を通じて、タイムリーで積極的な情報発信を促していく。また毎年実施しているLINEアンケートの結果をもとに、情報や意見を分かりやすく分析・整理し、情報発信を工夫しながら、より使いやすく役立つアカウントへと改善を重ねていく。
				R6.10.1時点	R7.10.1	R8.10.1	R9.10.1	R10.10.1	R11.10.1		R12.10.1		

施策④ まちへの愛着心の向上によるシビックプライドの醸成

- 施策方針1 ●こどもの頃からまちへの関心・愛着が高まるよう、まちの魅力を再発見できる機会や魅力の発信の充実を図ります。誰もが、気軽に参加できるイベントを充実させ、参加者同士の交流や触れ合いを深めます。
- 施策方針2 ●公園、花壇等における住民や地元企業等の参加によるアダプト・プログラムの推進を図ります。

No	重要業績評価指標（KPI）	所管課	単位	基準値 (計画策定時) 測定日・年度	実績値					判定	目標値 (R12)	指標の推移の状況・事業評価	今後の取組み
					(R7)	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)				
					測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度				
1	町に愛着を持っている住民の割合 (町民意識調査)	経営戦略課	%	80.9							85.0		令和8年度に意識調査を実施
				R6.8調査	—	R8調査	—	R10調査	—		—		
2	アダプト・プログラムの件数	都市計画課	件	12	14					B	17	令和7年度の実績は基準より2件増加した。広報だけとよでの公園の特集ページの中でアダプト・プログラムについての周知を行ったことにより、町の緑化推進につながったと考えられる。	今後も継続的に住民によるアダプト・プログラムの推進を図っていく。
				R6.4時点	R7.4時点	R8.4時点	R9.4時点	R10.4時点	R11.4時点		R12.4時点		

基本目標2 産業が持続・発展する活力のあるまち

施策① 地域の文化・歴史・観光資源を活かしたまちの魅力向上

- 施策方針1 ●豆みそ・たまり、みそ蔵のまちなみ、まちの駅「味の蔵たけとよ」、寺社、鉄道の歴史などの多様な資源を活かして誘客を図り、回遊性を高めながら、にぎわいの創出を図ります。
- 施策方針2 ●民間事業者などと連携しながら、みそ・たまりをはじめとした、文化・歴史、自然環境、農業などを活かしたイベントや体験コンテンツの充実など、地域資源を活用した新たな観光コンテンツを創出します。
- 施策方針3 ●魅力的な空間整備、案内表示の充実のほか、デジタル媒体（動画・SNS等）を活用した情報発信により、町外からの訪問・滞在・交流を促進します。

No	重要業績評価指標（KPI）	所管課	単位	基準値 （計画策定時） 測定日・年度	実績値					判定	目標値 （R12）	指標の推移の状況・事業評価	今後の取組み
					（R7）	（R8）	（R9）	（R10）	（R11）				
					測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度				
1	まちの駅「味の蔵たけとよ」における、味噌・たまり関連商品の年間販売個数	産業課	個／年	18,573	18,799					B	19,200	令和7年度は基準値より約1.2%増加した。各種フェアの開催や品ぞろえの充実に加え、デジタル情報板の設置、たけとよたまりのブランディング等の顧客を呼び込む施策を展開したことで、来場者数の増加につながったと考えられる。	デジタル情報板の定期更新を行い、PRに力を入れる。たけとよたまりのお土産品開発の検討を行い、ブランド力の強化を図ることで町内外問わず新規顧客の獲得を目指す。
				R6.4～R7.3	R7.4～R8.3	R8.4～R9.3	R9.4～R10.3	R10.4～R11.3	R11.4～R12.3		R12.4～R13.3		
2	たけとよめしの取扱店舗数	産業課	店舗	24	23					D	29	令和7年度は基準値より悪化した。取扱店舗の廃業に伴う減少である。武豊たまりのブランディングを行ったものの認知度がまだ低いため、たけとよめしの取扱店舗の申請にもつながっていないと考えられる。	町内外の飲食店を巡回してたけとよたまりのPR強化及び協力の呼びかけを行い、新規取扱店舗の獲得を目指す。
				R6.4.1時点	R7.4.1時点	R8.4.1時点	R9.4.1時点	R10.4.1時点	R11.4.1時点		R12.4.1時点		

施策② 地域産業の持続・発展と新たな産業の創出

- 施策方針1 ●地域経済をけん引する地域産業の持続・発展に向け、中小企業の設備投資などの経営基盤の強化、経営改善、経営革新などに向けた支援を行います。また、人材不足、物価高騰などの経営課題に対応しながら安定した経営の継続支援を行います。
- 施策方針2 ●地域の課題解決、新しい価値の創造などにつながる新たな産業の創出に向け、まちの魅力を発信することで新たな企業参入の促進や創業・起業支援を強化します。
- 施策方針3 ●企業の女性活躍支援・働き方改革を通じて、誰もが強みを発揮できる職場環境づくりを促進します。

No	重要業績評価指標（KPI）	所管課	単位	基準値 （計画策定時） 測定日・年度	実績値					判定	目標値 （R12）	指標の推移の状況・事業評価	今後の取組み
					（R7）	（R8）	（R9）	（R10）	（R11）				
					測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度				
1	中小企業者等応援補助金 交付件数	産業課	件／年	33	45					A	40	令和7年度の実績は基準値だけでなく目標値を上回った。商工会と連携し、事業者へ個別に声かけができていることで申請件数の増加につながったと考えられる。	地域経済をけん引する中小企業を支援できるよう、補助内容の見直しを行う。
				R6.4～R7.3	R7.4～R8.3	R8.4～R9.3	R9.4～R10.3	R10.4～R11.3	R11.4～R12.3		R12.4～R13.3		
2	創業支援補助金 交付件数	産業課	件／年	7	11					B	15	令和7年度の実績は基準値から大きく増加した。商工会と連携し、事業者へ個別に声かけができていることで申請件数の増加につながったと考えられる。	引き続き今の推進体制を維持するとともに、今後も補助制度を継続できるよう検討する。
				R6.4～R7.3	R7.4～R8.3	R8.4～R9.3	R9.4～R10.3	R10.4～R11.3	R11.4～R12.3		R12.4～R13.3		

【判定】	
A	目標値（R12）達成。（目標値を超えている）
B	目標値（R12）達成に向け、概ね順調に推移している。
C	基準値からは向上（改善）。ただし現状の推移では目標値（R12）達成は困難。
D	基準値から低下（悪化）。

施策③ 地元産品の消費の推進と更なる販路開拓

- 施策方針1 ●地元産品の消費拡大に向け、地元産品の付加価値の向上、地産外商などの新しい販路の開拓など、地元産業界と協力し、地元産業が持続的に成長できるように支援します。
- 施策方針2 ●地産外商の一環として、ふるさと納税の返礼品の拡充に向け、新たな事業者の開拓、商品開発支援などを進めます。
- 施策方針3 ●学校給食や町内イベントなどとの連携により、地元産品の町内へのPRによる町内消費の機会を増やし、地域内経済循環を強化します。

No	重要業績評価指標（KPI）	所管課	単位	基準値 （計画策定時） 測定日・年度	実績値					判定	目標値 （R12）	指標の推移の状況・事業評価	今後の取組み
					（R7） 測定日・年度	（R8） 測定日・年度	（R9） 測定日・年度	（R10） 測定日・年度	（R11） 測定日・年度				
1	ふるさと納税年間寄附額	経営戦略課	千円／年	33,832	35,579					C	100,000	令和7年度の実績は基準値から約5％増加した。返礼品提供事業者及び返礼品の拡充やフンストップ特例申請のオンライン受付方法を拡充したことで一定の効果はあったと思われるが、職員や事業者による直営対応の限界に達している。	ふるさと納税業務に係るノウハウが豊富な中間支援業務委託（返礼品写真撮影、サムネイル加工、サイト掲載等の返礼品提供事業者への伴走的支援）を導入し、寄附額の増加を図る。
				R6.4～R7.3	R7.4～R8.3	R8.4～R9.3	R9.4～R10.3	R10.4～R11.3	R11.4～R12.3		R12.4～R13.3		
2	学校給食に採用された地元食料量の割合	学校教育課	％	18.0	14.0					D	20.0	令和7年度の実績は基準値から約23％減少した。費用等の都合から水煮等の加工野菜を多く用いた献立が多くなったため、地元の生野菜の購入量が減少した。	地元の生産者と密に調整しながら、地域でつくられた野菜を用いた給食献立を積極的に取り入れていくよう努める。
				R6.4～R7.3	R7.4～R8.3	R8.4～R9.3	R9.4～R10.3	R10.4～R11.3	R11.4～R12.3		R12.4～R13.3		

施策④ 駅周辺及び公共交流拠点におけるまちづくり

- 施策方針1 ●名鉄知多武豊駅周辺の交通網の再構築、公共機能の移転検討などを進め、魅力的な駅前となるようなまちづくりを進めます。
- 施策方針2 ●名鉄知多武豊駅とJR武豊駅周辺への店舗の立地誘導や、商業団体や地域と連携した催事等の開催などを促します。また、公共交流拠点を中心とした交流や暮らしの拠点づくりを官民連携で進め、まちの魅力を高めるにぎわいづくりを進めます。

No	重要業績評価指標（KPI）	所管課	単位	基準値 （計画策定時） 測定日・年度	実績値					判定	目標値 （R12）	指標の推移の状況・事業評価	今後の取組み
					（R7） 測定日・年度	（R8） 測定日・年度	（R9） 測定日・年度	（R10） 測定日・年度	（R11） 測定日・年度				
1	町の中心部の魅力や活気への満足度 （町民意識調査）	数値：経営戦略 評価：都市計画	％	14.0							20.0		令和8年度に意識調査を実施
				R6.8調査	—	R8調査	—	R10調査	—		—		
2	駅周辺の来訪頻度（週1日以上） （町民意識調査）	数値：経営戦略 評価：都市計画	％	22.7							25.0		令和8年度に意識調査を実施
				R6.8調査	—	R8調査	—	R10調査	—		—		

基本目標3 安心して暮らせる新たな魅力と活力を創出するまち

【判定】	
A	目標値（R12）達成。（目標値を超えている）
B	目標値（R12）達成に向け、概ね順調に推移している。
C	B：基準値からは向上（改善）。ただし現状の推移では目標値（R12）達成は困難。
D	基準値から低下（悪化）。

施策① 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

- 施策方針1 ●住み慣れた地域や家庭において、安心していきいきと暮らし続けられるよう、地域や関係機関等が連携し、必要な医療を受けられる体制づくり、介護予防や地域での見守り・支援の充実を図ります。
- 施策方針2 ●全世代が交流できる居場所づくりや生涯学習、社会活動への支援を通じた町民の生きがいつくり、健康づくりを進めます。
- 施策方針3 ●コミュニティバスや接続タクシーなどにより、交通空白地帯の解消を図るとともに、幅広い年齢層の方が利用できるよう、コミュニティバス等の地域公共交通の充実を図ります。

No	重要業績評価指標（KPI）	所管課	単位	基準値 （計画策定時） 測定日・年度	実績値					判定	目標値 （R12）	指標の推移の状況・事業評価	今後の取組み
					（R7）	（R8）	（R9）	（R10）	（R11）				
					測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度				
1	憩いのサロン参加者数 （ボランティア含む）	福祉課	人／年	6,683	7,217					B	8,000	令和7年度の実績は基準値から約8％増加した。各配布物へのチラシ同封やチラシ配布、サロン紹介映像作成・投影などの周知活動を行った。また、参加を促すため、新たな催しものとしてe-スポーツに触れる機会の提供、カラオケ機械の紹介を行った。	運営ボランティアとの協議会及び大学教授らとの協議会において参加者数を増やす方法を引き続き検討するとともに、開催数を増やしたいという相談があったサロンをサポートすることで参加者数の増加につなげる。
				R6.4～R7.3	R7.4～R8.3	R8.4～R9.3	R9.4～R10.3	R10.4～R11.3	R11.4～R12.3		R12.4～R13.3		
2	コミュニティバス乗車人数	都市計画課	人／年	97,507	101,767					B	109,000	令和7年度の実績は基準値から約4.3％増加した。無料乗車券の交付、365日運行、接続タクシー制度を継続することで、利用者数は年々増加している。	住民アンケート・住民ワークショップを通してあげられた課題を整理し、ルート再編を視野に入れた公共交通計画を改定を行うことで、乗車人数の増加につなげる。
				R6.4～R7.3	R7.4～R8.3	R8.4～R9.3	R9.4～R10.3	R10.4～R11.3	R11.4～R12.3		R12.4～R13.3		

施策② 安全・安心なまちづくり

- 施策方針1 ●災害発生時における被害を最小限にするため、公共施設・住宅等の耐震化、空き家等対策、防災設備・資機材の充実を進めます。
また、町民の生命・財産を守るため、緊急情報等配信サービス等を始めとした防災情報を速やかに伝達する手段の普及を進め、町民の防災意識の向上を図ります。
- 施策方針2 ●地域の防災力や災害対応力の向上を図るため、日頃から住民や地域コミュニティとの意思疎通を図り、避難訓練等の各種防災対策や避難支援体制の整備に取り組みます。とりわけ、災害時に特に支援が必要となる避難行動要支援者については、地域全体で支える仕組みを構築します。

No	重要業績評価指標（KPI）	所管課	単位	基準値 （計画策定時） 測定日・年度	実績値					判定	目標値 （R12）	指標の推移の状況・事業評価	今後の取組み
					（R7）	（R8）	（R9）	（R10）	（R11）				
					測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度				
1	緊急情報等配信サービス登録件数	防災交通課	件	16,849	18,380					A	17,500	令和7年度の実績は基準値から約9％増加した。各種イベントでのチラシ配布や広報・町HP等による周知を行ったことにより、とくにLINEの登録者が増加した。	登録者の維持・増加に向けた周知を継続しながら、効果的な情報伝達手段についての検討をしていく。
				R6.4時点	R7.4時点	R8.4時点	R9.4時点	R10.4時点	R11.4時点		R12.4時点		
2	個別避難計画作成件数	防災交通課 福祉課	件	0	47					C	150	介護支援専門員及び相談支援専門員の協力のもと、作成を希望する方の個別避難計画の作成を開始した。対象者への効果的なアプローチ（案内方法やタイミング等）を検討した上で通知した。 ※初年度が実績に占める割合が大きく、二年度目以降はゆるやかに増加する性質であることを踏まえ、この評価とした	介護支援専門員や相談支援専門員はもとより、自主防災会との連携を図るとともに、よりよいアプローチを検討する必要がある。
				R6.4時点	R7.4時点	R8.4時点	R9.4時点	R10.4時点	R11.4時点		R12.4時点		

施策③ 環境にやさしいまちづくり

- 施策方針1 ●ごみの減量化や資源化への意識の浸透を図るため、情報提供や啓発を行うとともに、ごみのポイ捨てや不法投棄の防止に向け、地域ぐるみの清掃活動やパトロール活動を推進します。
- 施策方針2 ●ゼロカーボン社会の実現に向け、公共施設の省エネを推進するとともに、住民・地域・事業者が環境に配慮した行動を心掛けられるよう、環境学習等啓発・啓蒙活動を強化します。

No	重要業績評価指標（KPI）	所管課	単位	基準値 （計画策定時） 測定日・年度	実績値					判定	目標値 （R12）	指標の推移の状況・事業評価	今後の取組み
					（R7）	（R8）	（R9）	（R10）	（R11）				
					測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度				
1	1人あたりの家庭系ごみ（資源除く）の排出量	環境課	g/日	422	424					D	419	令和7年度の実績は基準値より悪化した。特定の家庭から出る埋立ごみ（土及び陶磁器ガラス類）が増加したことにより総じて家庭系ごみの排出量が増えたためであるが、これは令和7年度に限定的な状況だと思われる。	営業を開始したきたやまりユースステーションの積極的な周知に努める中で、特に、埋立ごみとして廃棄されがちな「まだ使える陶磁器やガラスの食器類」の持込み・利用を促す。 広報やLINE等でリユースや資源分別の促進に努める。
				R6.4～R7.3	R7.4～R8.3	R8.4～R9.3	R9.4～R10.3	R10.4～R11.3	R11.4～R12.3		R12.4～R13.3		
2	リサイクル率	環境課	%	41.4	40.1					D	43.0	令和7年度の実績は基準値より悪化した。民間企業による資源回収ボックスの設置等が進んでいることに伴い、公共が回収する量が減少したためと考えられる。	令和7年度より新たに稼働した、きたやま資源回収工ステーションの周知を強化する。利便性の高い同施設の利用を町民に促すことで、公共ルートにおける資源回収量の回復と、町全体のさらなる資源化推進を図る。
				R6.4～R7.3	R7.4～R8.3	R8.4～R9.3	R9.4～R10.3	R10.4～R11.3	R11.4～R12.3		R12.4～R13.3		
3	温室効果ガス（CO2）の排出量	環境課	千t-CO2	539	718					D	415	令和7年度の実績は基準値から約33％増加した。産業部門（特に特定事業者）の排出量増（約20万t）が主因であり、その他の部門は減少傾向にある。特に家庭部門は補助事業や研修により着実な減少傾向がみられるが、目標達成には産業部門との連携強化が急務である。	特定事業者の排出変動が全体数値に多大な影響を及ぼしているため、今後は、従来の家庭向け支援に加え、排出割合の大きい産業部門への支援策を検討し、2050年ゼロカーボンシティの実現を目指す。
				R4	R5	R6	R7	R8	R9		R10		

施策④ 将来のまちづくりを担う人材の発掘と育成

- 施策方針1 ●若い世代などがまちづくりへの理解を深め、関心を持ってもらえるよう、まちづくり講座の開催や参画できる機会を増やし、地域の中心となってまちづくりに携わる担い手を発掘・育成します。また、SNS等を活用しながらまちづくりの情報発信に努めます。
- 施策方針2 ●地域が抱える課題解決や住民サービスの向上に対し、住民、NPO・住民団体、大学、企業などの多様な主体とのパートナーシップを構築し、それぞれが持つノウハウやスキルを活かした公民連携によるまちづくりを推進します。
- 施策方針3 ●スポーツ・文化活動における地域クラブの立ち上げ支援や指導者の募集を行います。

No	重要業績評価指標（KPI）	所管課	単位	基準値 （計画策定時） 測定日・年度	実績値					判定	目標値 （R12）	指標の推移の状況・事業評価	今後の取組み
					（R7）	（R8）	（R9）	（R10）	（R11）				
					測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度				
1	町政・まちづくりに関心がある若い世代の割合 （町民意識調査）	経営戦略課	%	57.6							65.0		令和8年度に意識調査を実施
				R6.8調査	—	R8調査	—	R10調査	—		—		
2	提案型協働事業の提案件数	経営戦略課	件／年	3	4					B	5	令和7年度の実績は基準値を上回った。提案型協働事業の団体「TAKETOYO COMMUNITY PARK」と「協働のまちづくり案校」のコラボ事業「ゆめかたろうカフェ」の実施により、新たな地域課題の発見及び新たな地域づくりに係る担い手を発掘するなどの効果が見られた。	提案型事業の団体と、住民・NPO・大学・企業等の行政以外の組織とも関係性を構築し、地域課題の解決につながるよう、本事業を推進していく。
				R3～R7 平均	R7実績	R8実績	R9実績	R10実績	R11実績		R12実績		

施策⑤ 多様な生き方が認められ、誰もが活躍できるまちづくり

- 施策方針1 ●多様な価値観や生き方を持つ一人ひとりが偏見や固定観念にとらわれず、互いに認め合い、助け合いながら、安心して暮らし続けられる地域共生社会の構築を目指します。また、介護、虐待、生活困窮者などで悩みを抱えている人への相談体制や居場所づくりなど、重層的、包括的な支援体制づくりを進めます。
 施策方針2 ●こどもまんなか社会などの考え方やジェンダー平等、多文化共生などの多様性に対する正しい知識の啓発を図り、他者尊重の意識を育みます。
 施策方針3 ●住民、地域、企業、行政の連携のもとで、外国人住民との交流の機会を設け、相互理解を深める取組を推進します。
 施策方針4 ●乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージにあった生涯学習プログラムを提供するため、多様な講座を企画します。また、SNS等を利用した告知や学びの情報提供など、デジタルを活用した周知を進めます。

No	重要業績評価指標（KPI）	所管課	単位	基準値 （計画策定時） 測定日・年度	実績値					判定	目標値 （R12）	指標の推移の状況・事業評価	今後の取組み
					（R7）	（R8）	（R9）	（R10）	（R11）				
					測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度	測定日・年度				
1	異世代や外国人との交流がある住民割合 （町民意識調査）	経営戦略課	％	25.0							50.0		令和8年度に意識調査を実施
				R6.8調査	—	R8調査	—	R10調査	—		—		
2	男女共同参画への満足度 （町民意識調査）	経営戦略課	％	21.3							28.0		令和8年度に意識調査を実施
				R6.8調査	—	R8調査	—	R10調査	—		—		
3	生涯学習講座の参加者数	生涯学習 スポーツ課	人／年	2,216	2,461					A	2,350	令和7年度の実績は基準値だけでなく目標値を上回った。LINE配信・町HP・広報等で事業の周知を強化したことで、参加者数の増加につながったと考えられる。	引き続き乳児期から高齢者まで、それぞれのライフステージにあった生涯学習プログラムを提供するため、多様な講座を実施する。
				R6.4～R7.3	R7.4～R8.3	R8.4～R9.3	R9.4～R10.3	R10.4～R11.3	R11.4～R12.3		R12.4～R13.3		